

① 明石公園（あかしこうえん）

1.公園概要

公園名	明石公園
開設年月日	大正 7(1918)年 4 月 15 日
面 積	計画面積：54.8ha 開園面積：54.8ha
公園種別	広域公園
主な施設	明石城（巽櫓、坤櫓）、花と緑のまちづくりセンター、明石城武蔵の庭園、野球場（第1、第2）、陸上競技場、テニスコート、自転車競技場、ローンボウルズコート、子どもの村、こども広場、サービスセンター



明石公園は、明治 16 年に民営明石公園として開設されたが、明治 31 年に御料地編入により廃園となった。大正 7 年に中央の城址一帯を借り受け、再び県立公園として開設した。昭和 4 年に御料地全域の払下げを受け、昭和 7 年に現在の 54.8ha を開設したのち、戦後、運動施設等が整備され現在に至る。

明石公園は、城跡のほぼ全域を公園化したもので、国指定重要文化財である巽・坤櫓や石垣、堀などの遺構を保全しているほか、花や樹木など多様な植物や、アオバズク等の都会では希な野鳥も多く見られる。

「日本の都市公園 100 選」、「日本さくら名所 100 選」、「日本 100 名城」、「日本の歴史公園 100 選」に名を連ねる兵庫県を代表する都市公園である。令和元年には、明石城が築城 400 周年を迎える、「明石城築城 400 周年記念事業」が開催された。

明石公園では、管理運営の協議の場として、管理運営協議会とともに、明石公園に関わるすべての人が自由に参加し談義する「みんなのみらいミーティング」を設置している。

2.利用者数の推移

これまで利用者数は 2,500 千人～3,000 千人で推移し、明石城築城 400 周年記念事業を実施した令和元年度には 3,136 千人となった。その後、コロナ禍の令和 2 年・3 年度には 2,000 千人を下回ったが、令和 4 年度以降は 2,300 千人程度まで回復している。



3.施設配置図



明石城（巽櫓、坤櫓）



明石城武蔵の庭園



子どもの村



ローンボウルズコート



野球場（第1）



野球場（第2）



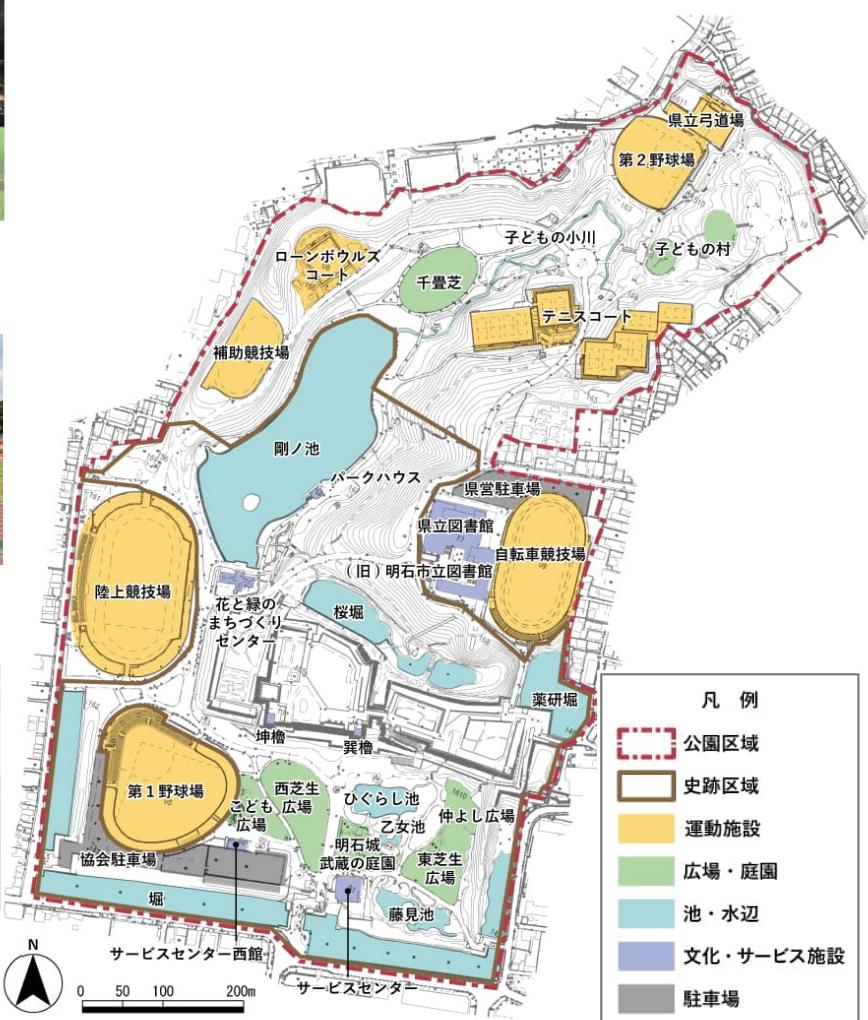
テニスコート



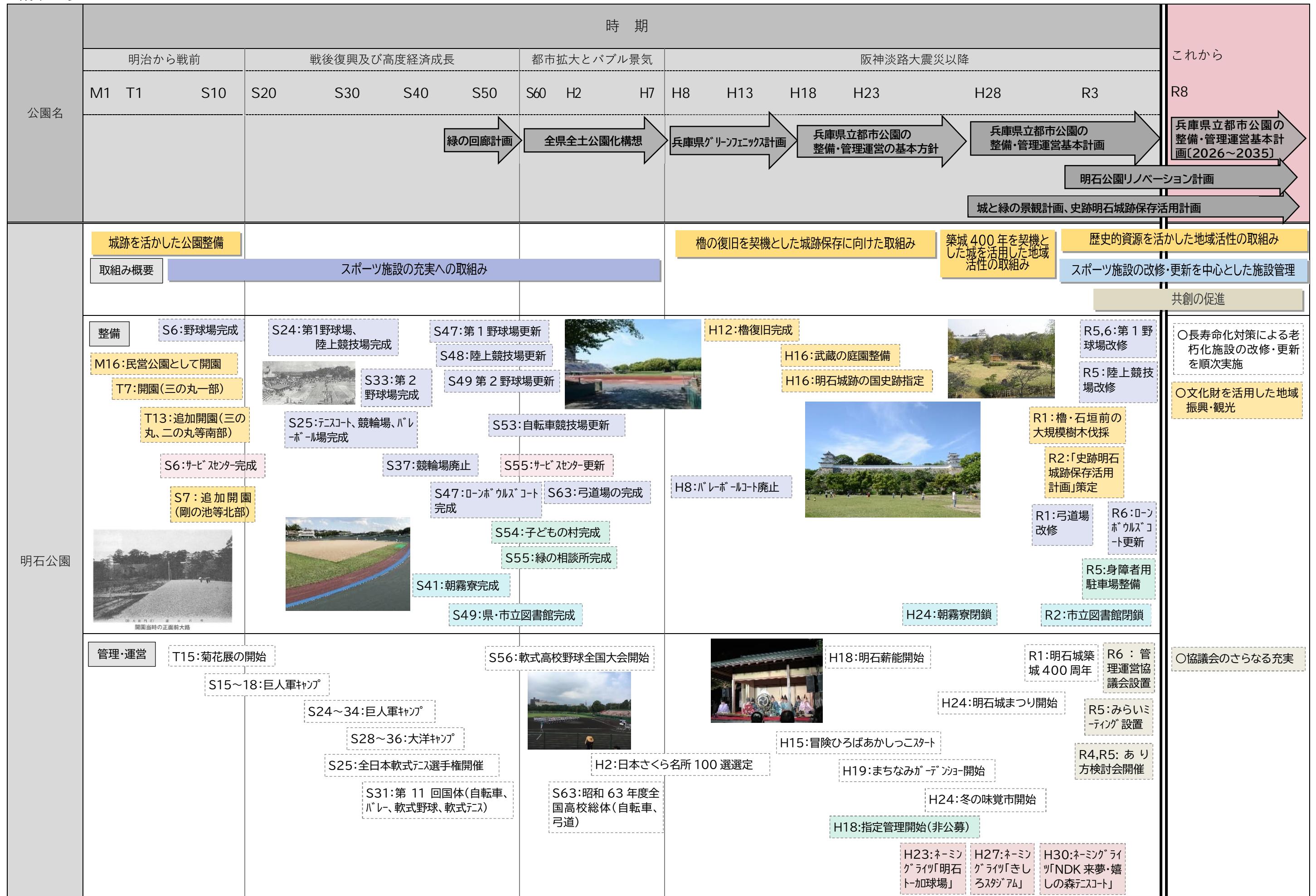
陸上競技場



自転車競技場



4.成り立ち



② 甲山森林公園 (かぶとやましんりんこうえん)

1. 公園概要

公園名	甲山森林公園
開設年月日	昭和 45(1970)年 11 月 10 日
面 積	計画面積：110.6ha 開園面積：83.0ha
公園種別	広域公園
主な施設	シンボルゾーン(記念モニュメント、噴水、彫刻、レストラン)、修景池、自由広場(2か所)、芝生広場(3公園)、野外ステージ、花時計、パイプアーチ橋、ハイキングコース、県民の森(つづじ園、展望休憩舎、芝生広場)、パークセンター

甲山森林公園は、「明治 100 年記念」、「兵庫県政 100 年」の記念公園として、六甲山の東端の甲山一帯の緑豊かな地に昭和 45 年に開設した広域公園である。

昭和 61 年に、昭和天皇在位 60 年記念の健康運動公園に指定され、自然環境の保全に加え、豊かな自然の中での健康づくりを目指して区域を拡張した。

阪神間のシンボルとしての甲山を中心とした都市域の自然環境保全を目的とし、公園区域の85パーセントを自然樹林として保全した公園である。

子育てを支援する公園として、子育て支援施設の設置や自然遊びなどの充実に取り組んでいる。

2.利用者数の推移

これまで、利用者数は900～1,000千人程度で推移していたが、コロナ禍における3密回避の目的もあり、令和2年度には最多の1,468千人の利用があった。その後は減少傾向にあるが、コロナ禍前の1,000千人前後の利用者数に回復している。



3.施設配置図



シンボルゾーン



修景池（みくるま池）



自由廣場



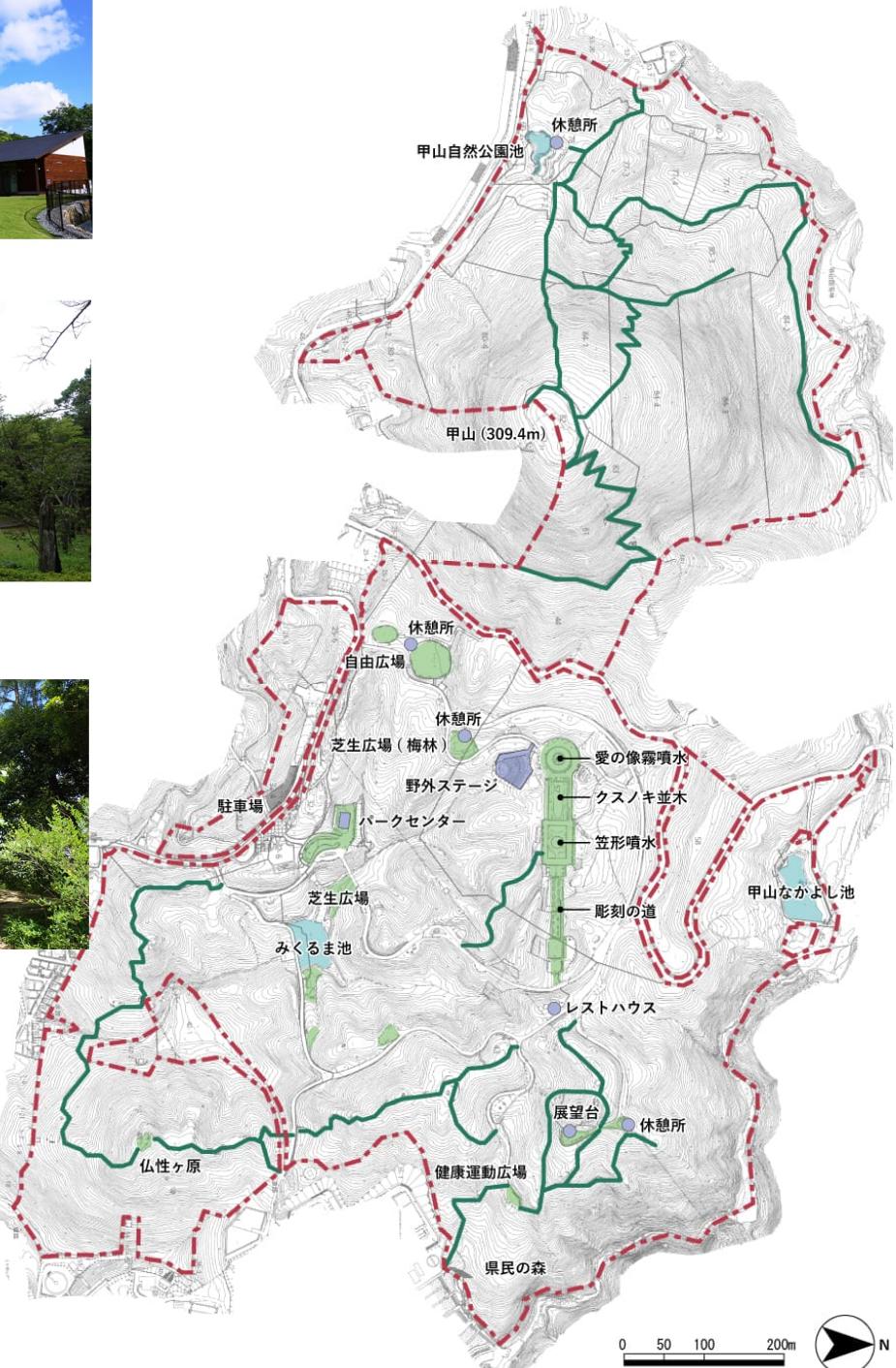
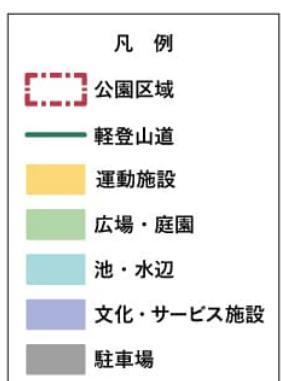
芝生広場



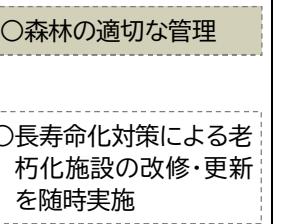
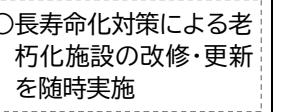
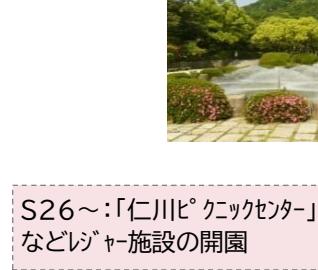
野外ステージ



軽登山道



4.成り立ち

公園名	時 期										これから R 8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035) 甲山森林公園リノベーション計画	
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降							
S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60 H2 H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3					
	緑の回廊計画	全県全土公園化構想	兵庫県グリーンフェニックス計画	兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針	兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画							
	野外レクリエーション需要に応じた園地整備			環境意識の高まりに応じた緑地保全への取組			子育て支援機能拡充の取組					
甲山森林公園	取組み概要			住民の参画と協働への取組み			共創の促進					
	整 備	S45:開園 S42:「兵庫百年」「明治百年」記念事業 	H4:緑地保全を優先した計画に見直し S61:拡張計画(整備) 昭和天皇在位60周年記念健康運動公園に指定 	H15:追加開園(なかよし池他) 	H16:自然観察池周辺の改修計画策定 H20:自然観察池改修 	H30:リニューアルの実施 パークセンター建替、芝生広場の整備、駐車場増設 	R3:健康遊具設置 	R5 :なかよし池更新 	○森林の適切な管理 	○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を隨時実施 		
	S26~:「仁川ヒュッケンセンター」などレジャー施設の開園 			H1:日本の都市公園100選に選定 S59:兵庫県森林浴50選に選定 H11:阪神淡路百名所に選定 			H16:管理運営協議会開始 H15:北山観察池利用検討会 			H30:子育て支援コーディネーター H30:森のようちえんによる公園の利活用 		
	管理・運営			H18:指定管理開始(H21から公募による指定管理)			○協議会のさらなる充実					

③ 播磨中央公園（はりまちゅうおうこうえん）

1.公園概要

公園名	播磨中央公園
開設年月日	昭和 53 (1978) 年 8 月 5 日
面 積	計画面積：381.6ha 開園面積：181.7ha
公園種別	広域公園
主な施設	芝生広場、四季の庭、桜の園、野球場、球技場、アーチェリー場、子どもの森、さいくるらんど、子どもの小川、サイクルステーション、サイクリングコース、遊歩道



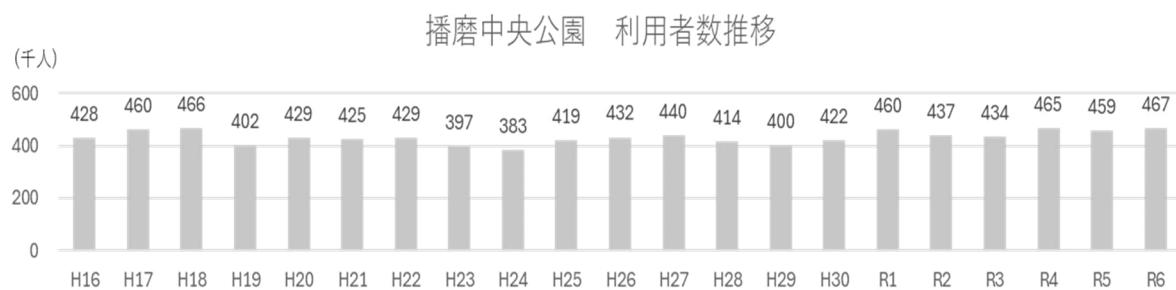
播磨中央公園は、国の都市公園等整備五箇年計画の制定を受け、播磨地域を中心とする広域レクリエーション需要を担い、中国自動車道沿線の秩序ある開発を促すため、滝野町（現加東市）の五峰山山麓の丘陵地に開設した。

各種運動施設、さいくるらんど、ばら園、桜の園、様々な遊具からなる子どもの森など、多種多様な施設を持つ広域公園である。

また、地域のサイクルスポーツの拠点として、サイクルステーションやサイクリングコースを整備した。

2.利用者数の推移

これまで利用者数は 400 千人から 470 千人の間で推移しており、令和 6 年には近年で最多の 467 千人となっている。



3. 施設配置図



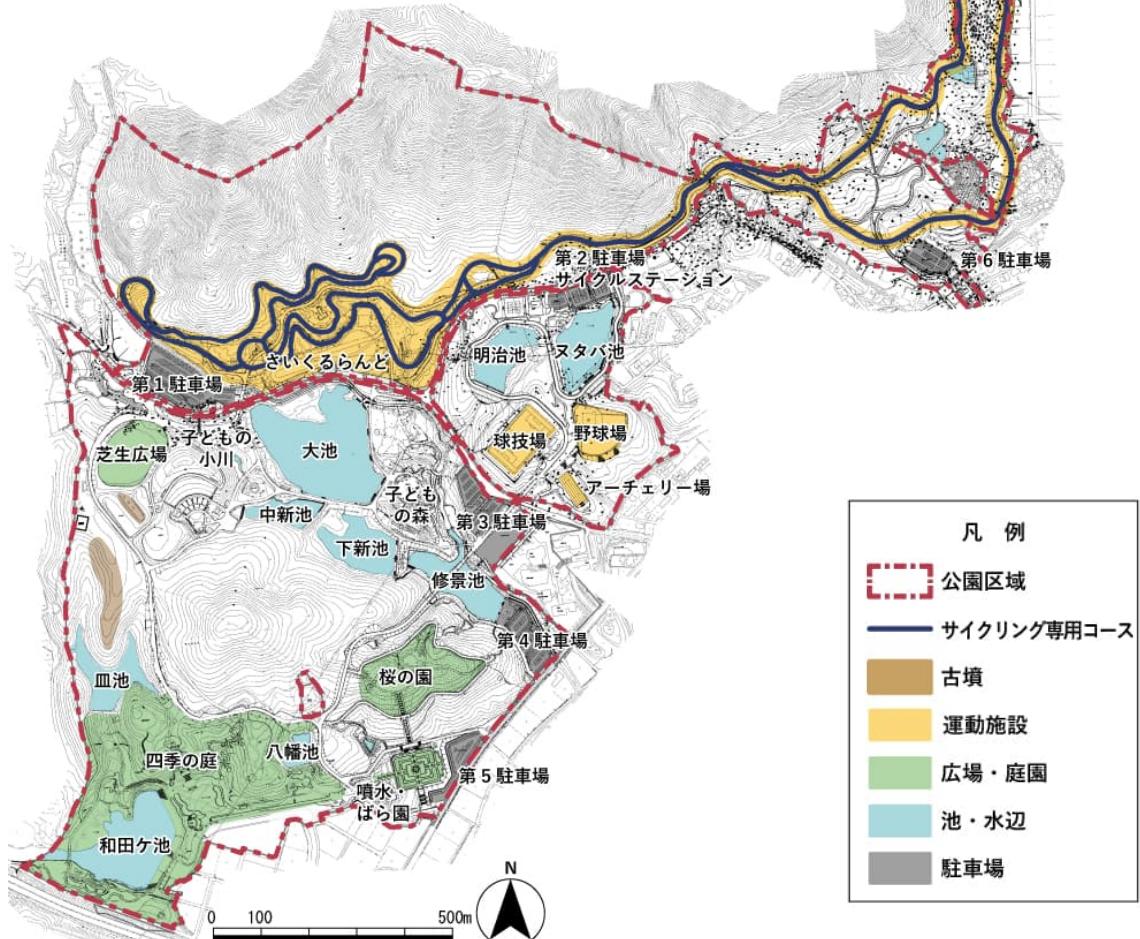
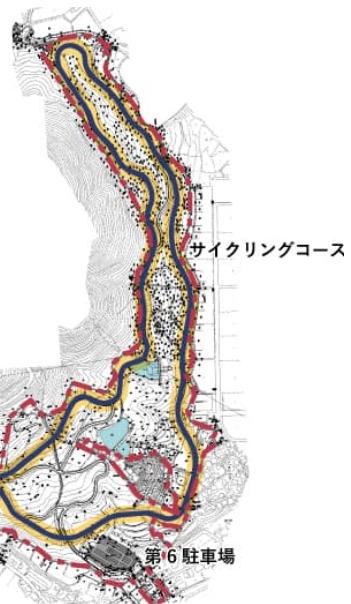
四季の庭



桜の園



芝生広場



サイクリングコース



野球場



球技場



アーチェリー場



子どもの森



さいくるらんど



子どもの小川

4. 成り立ち



④ 淡路島公園（あわじしまこうえん）

1.公園概要

公園名	淡路島公園
開設年月日	昭和 60（1985）年 4 月 21 日
面 積	計画面積：148.8ha 開園面積：134.8ha
公園種別	広域公園
主な施設	ハイウェイオアシス、花の谷、アジサイの谷、展望広場、水の遊び場、木の遊び場、大きな芝生広場、草原と花の広場、展望デッキ



明石海峡を望む淡路島北端の丘陵地に、豊かな自然環境とすばらしい眺望を生かし整備した広域公園。大阪湾から明石海峡まで見渡せる絶好の場所にある展望広場、関西では初めての高速道路と公園が一体的に利用できる「ハイウェイオアシス」を設置した。

園内の交流ゾーンには、大芝生広場や水の遊び場、木の遊び場、石の遊び場、大型スライダーなどスケールの大きな子供の遊び場を設けており、親子、家族の賑わいの場となっている。

平成 29 年には、アニメパーク「ニジゲンノモリ」がオープンし、訪日外国人をはじめとした新たな観光拠点となっている。

2.利用者数の推移

これまで利用者数は 2,000 千人程度であったが、コロナ禍であった令和 2 年・3 年度には、1,500 千人まで減少した。令和 4 年度以降は、利用者数が回復し、令和 5 年度には過去最多の 2,380 千人となった。



3.施設配置図



大きな芝生広場



花の谷



アジサイの谷



展望デッキ



草原と花の広場



展望広場



水の遊び場

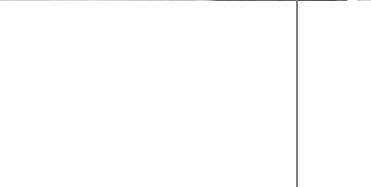
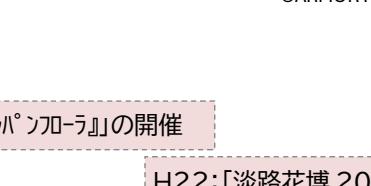
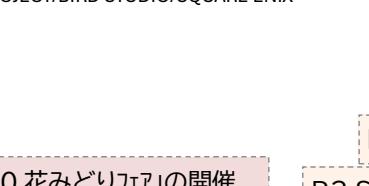
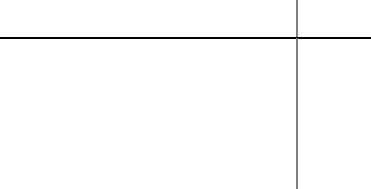
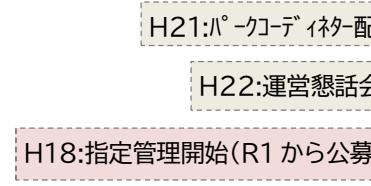


©ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX

ニジゲンノモリ

凡 例
公園区域
広場・庭園
池・水辺
文化・サービス施設
駐車場

4. 成り立ち

公園名	時期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035)		
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降								
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3			
		全県全土公園化構想			兵庫県グリーンフェニックス計画		兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針		兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画		淡路島公園リノベーション計画		
取組み概要		大鳴門橋の開通を契機とした淡路島内及び周辺地域のレクリエーション需要に対応した園地整備				明石海峡大橋開通および国際花博を契機とした機能拡充				民間活力の導入による多様化するニーズへの対応島内観光および地域活性化の牽引		共創の促進	
淡路島公園	整備	S52: 整備着手	S60:当初開園(展望広場、林間遊歩道、駐車場)		H10:追加開園(ハイエイアゾーン、森のゾーン)		H28:「県立淡路島公園ビジョン」策定		R6:「県立淡路島公園ビジョン」改訂				
			H3:追加開園(県民の森、石の遊び場、野外ステージ、管理事務所、駐車場)		H12:追加開園(交流ゾーン、水の遊び場)		H29:「ジケンモリ」オープン		H30:ジケンモリ追加開園(グランピング施設)		○民間活力の導入による観光振興事業の展開		
										H14:追加開園(森のゾーンの一部)		H31:ジケンモリ追加開園(NARUTO & BORUTO 忍里)	
										H16:追加開園(交流ゾーンの一部)		R2:ジケンモリ追加開園(ゴジラ迎撃作戦)	
										©ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX		R3:ジケンモリ追加開園(ドラゴンクエストアイランド)	
		S60 大鳴門橋の開通		H10:明石海峡大橋の開通		H12:「国際園芸・造園博『ジャパンプローラ』」の開催		H22:「淡路花博 2010 花みどりフェア」の開催		R3,R4:木の遊び場 乳幼児用遊具整備、大型遊具更新		R6:多言語デジタルガバメント設置	
		H17:管理運営協議会設置		H19:「淡路島公園管理運営計画」策定		H21:パークオーディネーター配置		H22:運営懇話会設置		R7:あり方検討会開催		R4:ハイアドックカフェ設置	
		H18:指定管理開始(R1から公募による指定管理)		R2:SIC設置		R3,R4:ハイアバリアフリー整備		R2:指定管理開始(R1から公募による指定管理)		R7:ネットミングライツ「ジケンモリアニメ淡路島公園」		○協議会のさらなる充実	

⑤ 赤穂海浜公園（あこうかいひんこうえん）

1.公園概要

公園名	赤穂海浜公園
開設年月日	昭和 62 (1987) 年 7 月 25 日
面 積	計画面積：71.7ha 開園面積：71.7ha
公園種別	広域公園
主な施設	わんぱく広場、テニスコート、オートキャンプ場、塩の国、赤湖・白湖、遊園地

The map shows the location of Akō Seaside Park (赤穂海浜公園) in Akō City, Hyōgo Prefecture. It is situated along the coast, with the Yamatoji Shinkansen and JR Akō Line running parallel to the sea. National Route 250 is also shown. The park's boundary is indicated by a red line, and a compass rose shows North.

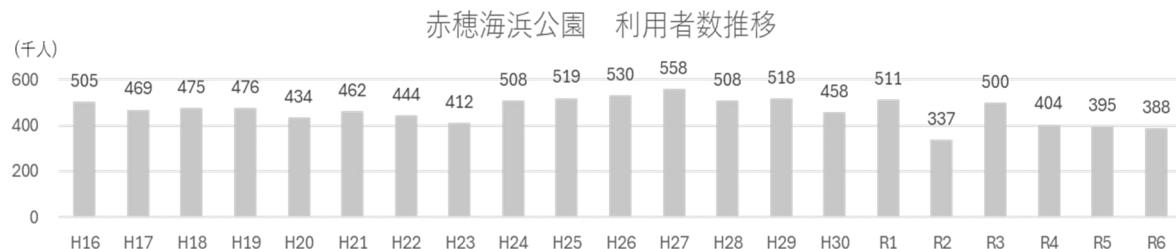
赤穂市には、“赤穂義士と塩の町”として、赤穂城址をはじめ、今なお多くの製塩の歴史を伝える文化遺産が残されている。赤穂海浜公園は、その沿岸部の塩田跡地に造られた広域公園である。西は千種川、南は瀬戸内海国立公園に隣接し、海岸は春から夏にかけて潮干狩や海水浴で賑わう。

公園の中央に 9.2ha の人工海水湖、「赤湖・白湖」を配置し、遊園地「わくわくランド」、オートキャンプ場、テニスコート等の施設のほか、赤穂の特色を生かした揚浜式から流下式塩田を復元し、伝統的製塩を行う「塩の国」を整備している。

赤穂海浜公園では、公園のさらなる魅力を図るため、民間のノウハウを積極的に活用し、公園を総合的かつ戦略的に一体管理する「段階投資型長期指定管理」を令和 7 年度から導入し、20 年間にわたる管理運営を行っている。

2.利用者数の推移

令和元年までは、500 千人前後の利用者数であったが、コロナ禍の令和 2 年度には 337 千人まで減少した。令和 3 年度には 500 千人まで回復したが、その後は 400 千人前後で推移している。



3.施設配置図



わんぱく広場



テニスコート



オートキャンプ場



赤湖・白湖

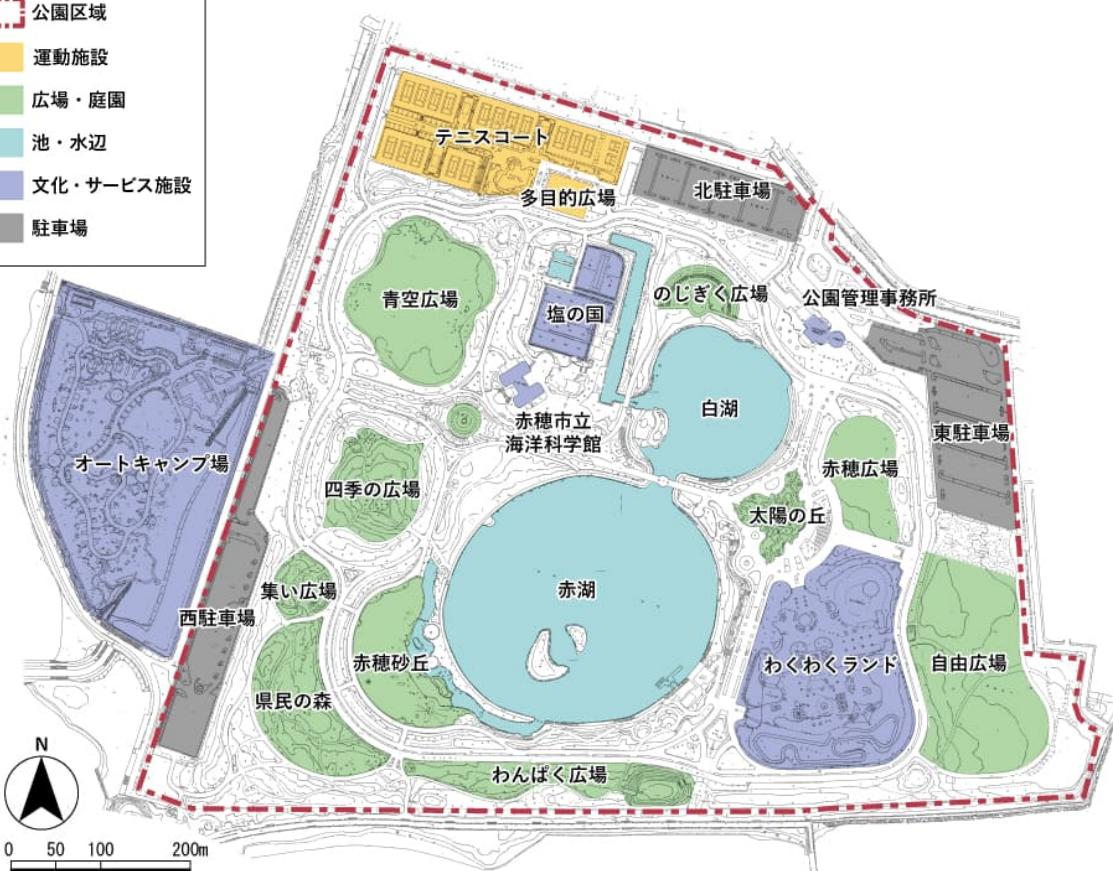


赤穂市立海洋科学館 (塩の国)



わくわくランド

凡 例	
	公園区域
	運動施設
	広場・庭園
	池・水辺
	文化・サービス施設
	駐車場



4.成り立ち

公園名	時 期										これから R 8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035)	
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降							
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60 H2 H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3				
	緑の回廊計画	全県全土公園化構想	兵庫県グリーンフェニックス計画	兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針	兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画	赤穂海浜公園リバーサイド計画	赤穂海浜公園リバーサイド計画(R5.7改訂)					
取組み概要	西播磨地域の多様なスポーツ、レクリエーションに応じた施設及び園地整備				西播磨臨海レクリエーションリゾートの核として位置付け				「塩」や「海」等の地域資源を活用した観光振興と公園利用の活性化			
整 備	S52 整備着手	S62 開園	S62:人口湖、塩の国、海洋科学館の開園	H1:赤穂わくわくランドの追加開園	H2:出会い橋、赤穂広場の追加開園	H2:スポーツセンターの計画見直し	H9:オートキャンプ場の追加開園		H30:「赤穂海浜公園魅力アップ計画」策定	R5:「魅力アップ計画」と「リバーサイド計画」統合	○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施	
赤穂海浜公園	S46:緑の回廊計画と同様の考え方のもと、赤穂市南部の塩田跡地を用地として先行取得				R2:芝生すべり台整備	R3:わんぱく広場遊具更新	R3~ 塩の国改修	R3:観覧車撤去	R6~:展望施設整備 海側柵一部撤去	R7:オートキャンプ場改修・整備	R7~:自由広場整備	R7~:わくわくランドアトラクション新設
指定管理者整備									R1:日本遺産「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂」の認定(赤穂市)			
管理・運営					H16:管理運営協議会開始	H19:バーコーディネーターの設置		H30:高齢化のため管理運営協議会の解散	R6:特定期間廃止	○協議会のさらなる充実		
								R1:管理運営協議会再開	R4:あり方検討会開催	R5:うみの会議開始	○民間活力の導入等による観光振興事業の展開	R7:長期指定管理開始(20年)
							H18:指定管理開始(H24から公募による指定管理)					

⑥ 一庫公園（ひとつくらこうえん）

1.公園概要

公園名	一庫公園
開設年月日	平成 10（1998）年 7 月 29 日
面 積	計画面積：116.1ha 開園面積：48.2ha
公園種別	広域公園
主な施設	ネイチャーセンター（北摂里山博物館ビジターセンター）、自然観察の森、湖畔の道、森の広場、見晴らしの丘、森の遊び場、丘の流れ

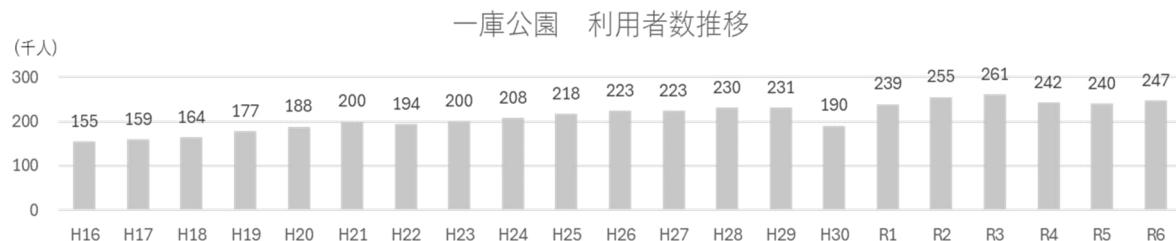


一庫ダム建設に併せ、近郊緑地保全地区等に指定されている周辺一帯の良好な自然を活かし、川西市と連携して阪神間 2 箇所目の広域公園として整備した。

公園周辺は、江戸時代より茶道用菊炭の生産が続けられており、平成 18 年に環境省の里地里山保全再生モデル事業実施地域に認定されるなど、日本一の里山と称されている。園内のネイチャーセンターでは、里山の生き物や生態が学べるほか、炭窯が整備され、参画と協働によりクヌギ林の輪伐による維持と伝統的な菊炭の生産が続けられているユニークな公園である。

2.利用者数の推移

利用者数は年々増加傾向にあり、令和 3 年度には過去最大の 261 千人となった。平成 30 年度は、豪雨の影響により閉園期間があり、利用者数が減少したが、最近は 240 千人程度で推移している。



3.施設配置図



NEYチャーセンター



自然観察の森



森の広場



見晴らしの丘



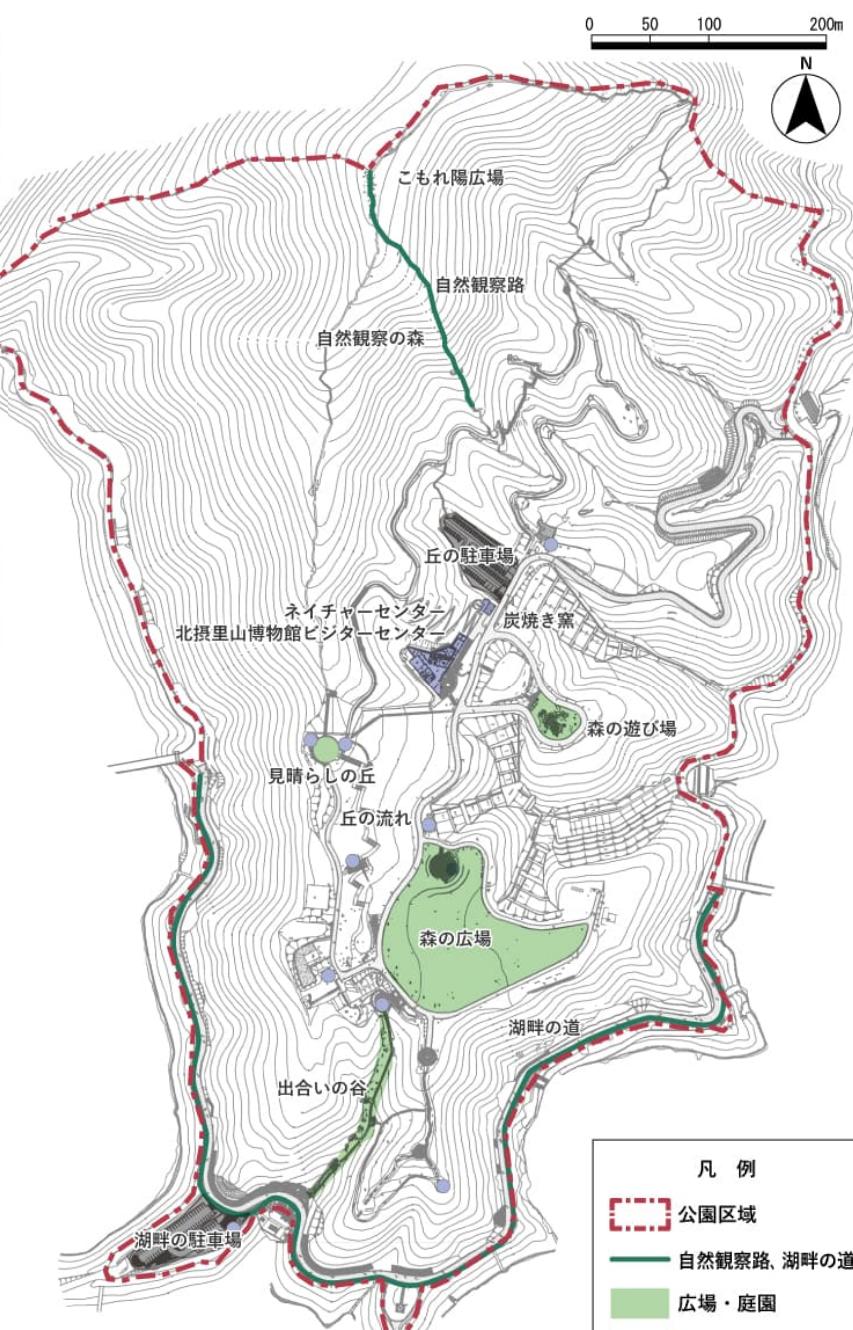
森の遊び場



丘の流れ



炭焼き窯



凡 例

- 公園区域
- 自然観察路、湖畔の道
- 広場・庭園
- 文化・サービス施設
- 駐車場

4. 成り立ち

公園名	時期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035)																			
	戦後復興及び高度経済成長			都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降																							
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3															
	緑の回廊計画		全県全土公園化構想		兵庫県グリーンフェニックス計画		兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針		兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画		一庫公園リバーション計画		一庫公園リバーション計画																	
取組み概要												緑の保全																		
子供たちの自然環境学習の場の整備												住民の参画と協働への取組み		共創の促進																
一庫公園	整備			S49:一庫ダム整備に向けた用地			H10:開園「自然と人の出会いの場」をメインテーマとして整備			H10:山のゾーンを除いて全面開園			H14:山のゾーン(自然散策路等)の整備完了					○里山の適切な管理												
	S56:用地を都市公園として利用する方針が決定			S58:一庫ダムの管理開始						H23:「北摂里山博物館構想」における対象地域の一部として位置付け			H23:「北摂里山博物館構想」策定			R3:遊具の改修		○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施												
管理・運営												H14:管理運営協議会開始		H18:炭焼き等の住民参画活動推進のためのコ-ティネーター配置				○協議会のさらなる充実												
H18:指定管理開始(H20から公募による指定管理)																														

⑦ 有馬富士公園（ありまふじこうえん）

1.公園概要

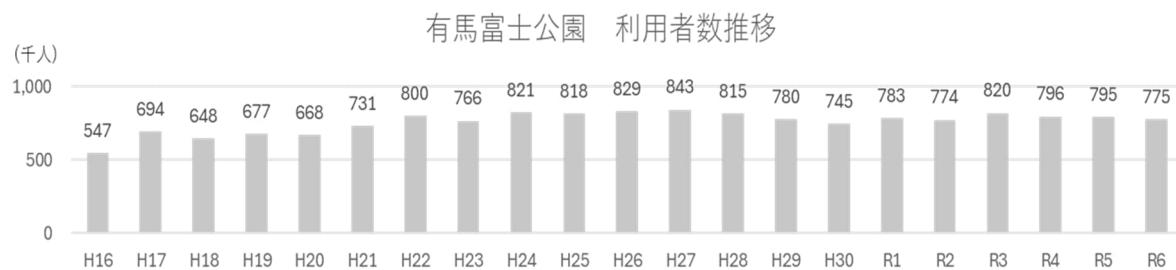
公園名	有馬富士公園
開設年月日	平成 13（2001）年 4 月 29 日
面 積	計画面積：359.8ha 開園面積：178.2ha
公園種別	広域公園
主な施設	パークセンター、ガーデン階段、棚田、里山、かやぶき民家、あそびの王国、大芝生広場、ビオトープ池、ピクニック広場、展望デッキ、風のミュージアム、有馬富士自然学習センター(三田市立)



有馬富士公園は、古くから景勝の地として知られ、豊かな自然環境を残す有馬富士と福島大池一帯にあり、阪神間 3 箇所目の広域公園として整備した。園内には、里山をはじめ、棚田、湿地等を有し、大規模な子供の遊び場「あそびの王国」や、風のミュージアムを展示する「風のミュージアム」、三田市立「自然学習センター」がある。当公園は、開設当時から県立人と自然の博物館と連携し、住民参画による公園運営に取り組み、住民参加型のモデル公園として全国的に知られる公園となっている。

2.利用者数の推移

利用者数は、これまで 800 千人前後で推移しており、平成 27 年度にはピークとなる 843 千人の利用となった。近年も 800 千人前後で推移している。



3.施設配置図



パークセンター



出会いの広場



花の道



鳥の道



草地の生態園



0 100 200 400m



大芝生広場

有馬富士
共生センター



水辺の生態園



あそびの王国



林の生態園



凡例
公園区域
広場・庭園
池・水辺
文化・サービス施設
駐車場



かやぶき民家



棚田



大芝生広場



風のミュージアム

4. 成り立ち

⑧ 三木総合防災公園（みきそうごうぼうさいこうえん）

1.公園概要

公園名	三木総合防災公園
開設年月日	平成 17（2005）年 8 月 6 日
面 積	計画面積：202.5ha 開園面積：202.3ha
公園種別	広域公園
主な施設	屋内テニス場、球技場、陸上競技場、第2陸上競技場、野球場、屋外テニスコート、グラウンドゴルフ場、中央芝生広場、西芝生広場、桜の広場、遊戯広場、林間広場

三木総合防災公園は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県の人口重心に位置し、全県域の防災拠点となる広域公園であり、災害時は、隣接する広域防災センターと一緒に県全体をカバーする広域防災拠点となる。管理運営面でも、平常時から防災センターと連携を図ることで、非常時の迅速な用途転換を可能にしている。

これまで県内の災害はもとより、東日本大震災をはじめ、国内外の大規模災害発生時に備蓄物資の供出を行っている。

平時は、世界最大規模の屋内テニスセンターであるビーンズドームや第1種 公認陸上競技場など、県民のスポーツ・レクリエーションの拠点として、国際レベル・全国レベルのスポーツ大会が開催されている。

2.利用者数の推移

平成 17 年の開園以来、利用者数は増加傾向にあり、最近は 1,100 千人前後の利用者数となっている。コロナ禍であった令和 2 年度は 888 千人と減少したが、その後は回復している。



3.施設配置図



屋内テニス場

球技場

陸上競技場

第2陸上競技場



野球場

屋外テニスコート

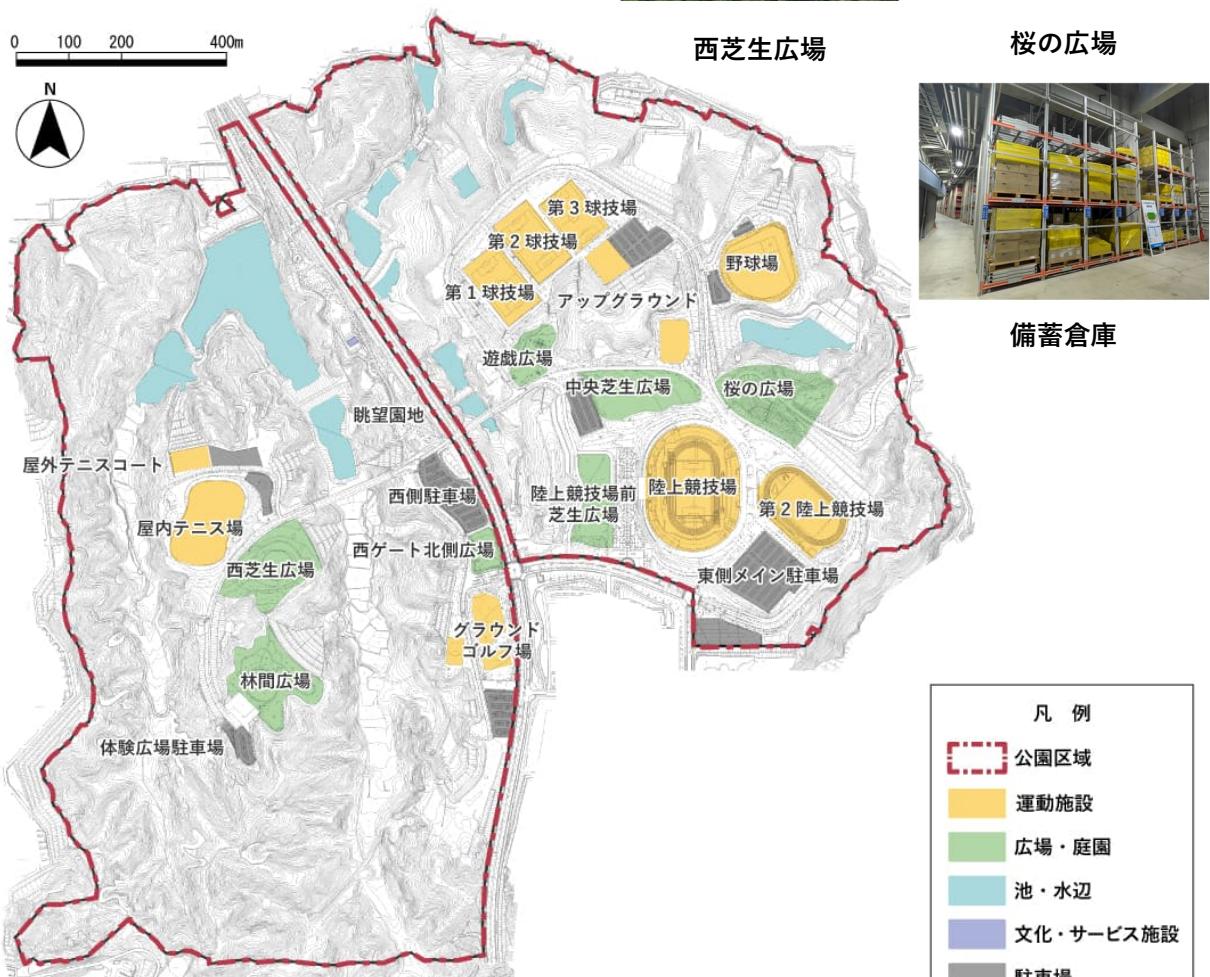
グラウンドゴルフ場

中央芝生広場



西芝生広場

桜の広場



4.成り立ち

公園名	時 期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画〔2026～2035〕 三木総合防災公園リノベーション計画	
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降							
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3		
<pre> graph LR A[緑の回廊 計画] --> B[全県全土公園化構想] B --> C[兵庫県グリーンエイクス計画] C --> D[兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針] D --> E[兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画] E --> F[三木総合防災公園リノベーション計画] </pre>												
	取組み概要	阪神 淡路 大震 災	<p>阪神・淡路大震災の教訓をふまえた県広域防災拠点の整備と活用</p> <p>県大会や全国大会、国際試合等が開催可能なスポーツ拠点としての整備と活用</p>									
	整 備		<p>H17:開園 ・隣接する「県立広域防災センター」と一体となった県下全域を対象とする広域防災拠点 ・県全体のスポーツ拠点</p> <p>H17:陸上競技場、球技場の供用開始</p> <p>H18:中央広場、展望広場等の供用開始</p> <p>H19:屋内テニス場(ピースドーム)の供用開始</p> <p>H21:グラウンドゴルフ場等の供用開始</p> <p>H22:自然体験の森ゾーン他供用開始、屋内テニスコート4面増設</p>	<p>R7:陸上競技場公認更新</p>	<p>○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施</p>							
三木総合防災公園	管理・運営		<p>H23:東日本大震災への救援物資仕分け・搬出</p> <p>H18:国民体育大会「のじぎく兵庫国体」 全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」(サッカー会場)</p> <p>H19:世界陸上大阪大会 アーバン、日本代表合宿</p> <p>H20～:テニスフェドカップ及び デビスカップ随時開催</p> <p>H21:屋内テニス場が JOC 認定競技別強化センターに指定</p> <p>H22:第21回全国みどりの愛護のつどい開催</p> <p>H20:ネーミングライツ「ブルボンピースドーム」</p> <p>H18:指定管理開始(R6から公募による指定管理)</p>	<p>R6:能登半島地震への救援物資仕分け・搬出</p> <p>H27:テニスアチャレンジヤー開催</p> <p>R1:ラグビーワールドカップ2019事前キャンプ受入れ(スコットランド、カナダ)</p> <p>R5:0-0-5G実証実験</p> <p>R6:ネーミングライツ「サムライドリームスタジアム」</p>	<p>○管理運営協議会設置</p>							

⑨ 丹波並木道中央公園（たんばなみきみちちゅうおうこうえん）

1.公園概要

公園名	丹波並木道中央公園
開設年月日	平成 19(2007)年 10 月 14 日
面 積	計画面積：70.9ha 開園面積：70.9ha
公園種別	広域公園
主な施設	森林活動センター（製材所）、茅葺民家、棚田、灰家（はんや）、ローラー滑り台、芝生広場、サイクルステーション、恐竜遊具、太古の生きもの館（丹波篠山市立）

The map shows the location of the Tanba Arashiyama Central Park (丹波並木道中央公園) in red, situated along the Tamba Arashiyama Road (国道371号). It also shows the Sanjurokko Gorge Expressway (丹波篠山線) and various landmarks such as Dan波大山 (Danbo Oyama), Dan波篠山IC (Danbo Arashiyama IC), and 古市 (Komi).

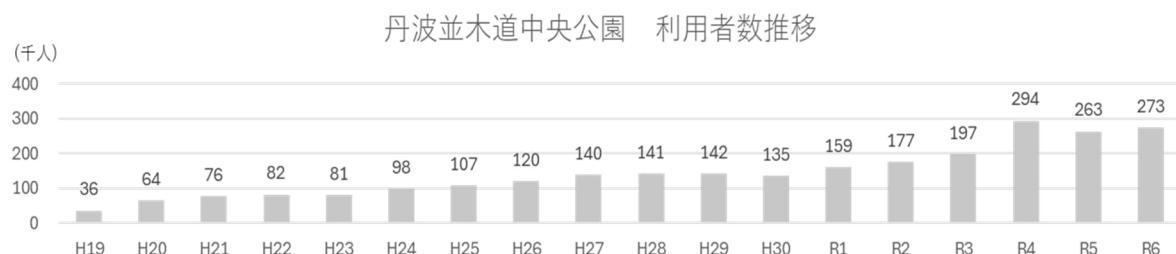
丹波並木道中央公園は、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」の中核拠点として、「みんなでつくり、育てる公園」をテーマに参画と協働により、計画・整備した広域公園である。園内は棚田や茅葺民家、地域の伝統的な灰屋を再現し、丹波地域の昔ながらの農村生活等を体験できる公園である。

また区域の 65%がスギ・ヒノキ人工林であることから、公園内に製材所を設け、園内間伐材を資源とした遊具、ベンチの製作や木工教室を開催するなど丹波地域のなりわいを生かした公園づくりを進めている。

また、公園内から恐竜の化石が発見されたことから、恐竜や化石をモチーフにした遊具や、サイクリルツーリズムを推進するために設定したサイクリングモデルルート「兵庫丹波チャレンジ200」の拠点としてサイクルステーションを整備している。

2.利用者数の推移

平成 19 年の開園以来、利用者数は増加傾向にあり、令和 4 年度にはピークとなる 294 千人の利用となった。その後は、270 千人前後で推移している。



3.施設配置図



サイクルステーション



茅葺民家



ほねほね化石広場



森林活動センター



動く恐竜



わくわく恐竜広場



ローラーすべり台



灰屋



展望台



棚田



4.成り立ち

公園名	時 期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035) 丹波並木道中央公園リノベーション計画
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降						
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60 H2 H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3			
<pre> graph LR A[緑の回廊計画] --> B[全県全土公園化構想] B --> C[兵庫県グリーンフェニックス計画] C --> D[兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針] D --> E[兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画] E --> F[丹波並木道中央公園リノベーション計画] </pre>											
丹波並木道中央公園	取組み概要				丹波の森構想に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化拠点整備		恐竜化石の発見を契機とした学習教育拠点機能、地域活性化拠点機能の拡充	住民の参画と協働への取組み		共創の促進	
	整 備		<p>H2:大規模レクリエーションリゾート公園として基本計画</p> <p>H1:「丹波の森構想」の策定</p> <p>S63:和レア'88 21世紀公園都市博</p>		<p>H13:埋蔵文化財及び貴重種の確認を受けて計画の見直し ・造成計画の縮小 ・オトキヤン場計画→自然観察園(森の聖域)</p>	<p>H19:開園「丹波の森構想」の中核施設として整備</p> <p>H26:第2期区域の都市計画廃止</p>	<p>H22:追加開園により、全面開園</p> <p>H22,23:公園内において恐竜の化石発見</p>	<p>H18:当園周辺地域において恐竜の化石発見</p> <p>H27:「丹波地域恐竜フィールドミュージアム構想」においてコア施設として位置付け</p>	<p>H20:当園周辺地域で国内最古級の哺乳類化石発見</p> <p>H29:太古の生きもの館(篠山市設置管理許可施設)の整備</p>	<p>R3,4:恐竜遊具の整備</p> <p>R2:「兵庫県自転車活用推進計画」策定</p> <p>R2:丹波サイクルチャレンジ200の拠点</p> <p>R3:サイクルステーションの整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○森林の適切な管理 ○恐竜、自転車等を活かした観光振興事業 ○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施
	管理・運営				<p>H13:参画と協働による公園の基本・管理運営の検討、参加型バドの実施</p> <p>H18:管理運営協議会(森の円卓会議)開始</p> <p>H19:公募による指定管理開始</p>				<p>R6,7:あり方検討会開催</p>	○協議会のさらなる充実	

⑩ 淡路佐野運動公園（あわじさのうんどうこうえん）

1.公園概要

公園名	淡路佐野運動公園
開設年月日	平成 15（2003）年 5 月 3 日
面 積	計画面積：29.5ha 開園面積：29.5ha
公園種別	運動公園
主な施設	野球場（第1、第2）、サッカー場（第1、第2、第3）、多目的グラウンド、第2多目的グラウンド、クラブハウス、屋内練習場



The map shows the location of Awajisano Sports Park (red dot) on Awaji Island. It highlights the Seto-Osaka Expressway (green line) and National Route 28 (blue line). Key locations marked include Tominomi-no-Miya to the west, and Eboshi and Nishioji to the east. A compass rose indicates North.

淡路市佐野新島に整備された、県立都市公園として唯一の運動公園である。

淡路島公園を補完する淡路地域のスポーツ・レクリエーションの拠点として、野球場、サッカー場を整備しており、多目的グラウンドを合わせると全国最大級の 8 面で少年野球の開催可能な少年野球のメッカとなっている。サッカーでは 2002 年の『FIFA ワールドカップ』でイングランドチームのキャンプ地として注目を集めた。

屋内練習場を整備し、地域の防災力の向上はもちろん、練習拠点、スポーツ合宿等を通じ、地域間交流及び地域活性化の核となる公園づくりを進めている。

2.利用者数の推移

平成 15 年の開園後、10 年ほどで、利用者数は 200 千人前後で推移するようになった。コロナ禍であった令和 2 年度には利用者数が 137 千人に減少したが、その後回復し、令和 5 年度は開園以来最多となる 250 千人の利用となった。



3.施設配置図



第1野球場



第2野球場



多目的グラウンド



第2多目的グラウンド



第1サッカー場



屋内練習場

0 50 100 200m



クラブハウス



凡 例

- 公園区域
- 運動施設
- 池・水辺
- 文化・サービス施設
- 駐車場

4. 成り立ち

公園名	時 期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画[2026～2035]	
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降							
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3		
	緑の回廊 計画	全県全土公園化構想	兵庫県グリーンフェニックス計画	兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針	兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画						淡路佐野運動公園リノベーション計画	
淡路佐野運動公園	取組み概要		W杯およびのじぎく国体開催を契機としたスポーツ拠点の整備				プロスポーツ等誘致による地域活性化を目指したスポーツ施設の充実				地域住民の健康づくり	
			住民の参画と協働への取組み				共創の促進					
整 備	H14:FIFA ワールドカップ		OH18:国民体育大会「のじぎく兵庫国体」 全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」				R1:ラグビーワールドカップ		○樹木の適切な管理			
	H13:野球場、サッカーフィールドの施設整備		H15:開園 ・全国・県大会レベルの公式大会の開催、野球王国兵庫への支援、少年野球の夢舞台づくり ・淡路地域におけるスポーツ振興及び健康の維持増進				H15:野球場、サッカーフィールド、多目的グラウンドの供用開始		○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施			
	H9,10:企業庁と津名町が共同でサッカー場を整備		H23:第2多目的グラウンドの供用開始				H30:屋内練習場の供用開始		○協議会のさらなる充実			
	H14:FIFA ワールドカップキャンプ地として先行使用(イングランド)		R1:ラグビーワールドカップ 2019事前キャンプの受入れ(サモア、ロシア)				H15:管理運営協議会開始					
	H18:のじぎく兵庫国体:サッカーのじぎく兵庫大会:ソフトボール、グラウンドソフトボール、フットサル		H18:指定管理開始(H26から公募による指定管理)									